

# 進路だより みちしるべ



令和4年1月12日発行 第14号

## あけましておめでとうございます。

いよいよ受験です。冬休み中に自分を追い込むことはできましたか？これから入試にあたっての心得を述べます。絶対に守ってほしいことと、こうした方がいいですよというアドバイスの2本立てで説明します。

### 入試についての確認事項(絶対編)

- ① 入試当日は、余裕を持って起きること。  
※ 行動計画書を作成し、受験3日前までには提出すること。
- ② 忘れ物がないか家を出る前に最終確認する。  
(受験票、筆記用具、交通費、上履き、時計、弁当等)  
※ 悪天候の場合は、替えの靴下、タオルぐらいは持って行くこと。  
※ 受験票の保管場所は家族に伝えておきましょう。  
※ 上履きは必ず前日持ち帰ること。  
そして、次の日に持ってくるのを忘れない。貸し出しにも限界があります・・・。
- ③ 電車やバスの中では周りの乗客に迷惑をかけない。マナーに注意。  
※ 電車やバスの中ではカバンは前にかけてましょう。
- ④ 試験場に着いたら、高校の先生の指示で試験会場に入る。
- ⑤ 試験開始前や休み時間、面接の待ち時間の言動に十分注意をする。  
(高校の先生方は様子をよく見えています)
- ⑥ 試験終了後は、寄り道をせずに帰ってくる。  
※ 友達と帰ろうとしている人は、面接時間がバラバラになった時は、各自で帰る。
- ⑦ 駅に着いたら寄り道をせず、自宅に帰る。  
※ 原則として、入試当日は、試験が終わったら自宅に帰る。
- ⑧ 受験を終えたら「入試報告書」(進路ノートP63)を記入し、翌日担任の先生へ提出。



### 入試についての確認事項(アドバイス編)

- ① 入試は、受けなければ合格しない！
  - ▲体調が優れない → 保健室(別室)受験を申し出ることができます。
  - ▲寝坊した → 遅刻しても受験させてもらえる場合もあります。まずは高校に連絡し、指示を仰ぎ、急いで試験会場に行くこと。



▲受験票を忘れた（なくした）

→ 身分を証明できるもの（=生徒手帳）と受験番号を控えていれば受験できる場合もあります。準備は前日に落ち着いてやりましょう。

▲待ち合わせ場所に〇〇さんが来ない。

→ 〇〇さんは待たない！共倒れになる前に、自分だけでも試験会場に向かいましょう。

▲待ち合わせ場所に□□さんがいない。（上とは逆のケース）

→ 上と同様、共倒れになる前に、自分だけでも試験会場に向かいましょう。

▲公共交通機関の乗り物が事故を起こして、遅刻しちゃう。

→ 遅延証明書（のようなもの）がすぐに発行できるのであれば、受け取って試験会場へ。無理ならば、なるべく早く試験会場に行き、事情を話してください。

② 余裕をもって試験会場へ向かうこと。

普段、公共交通機関を利用するときは、土日祝日が多いはず。しかし、平日の朝の公共交通機関は全くわけが違います。かなりの交通渋滞や通勤通学ラッシュを考慮しなくてははいけません。交通渋滞や満車で乗れなかったというのは「公共交通機関の乱れ」とは違います。

▲バスに乗れない → バスは満員状態になると乗れません。これは学校専用のバスでも同様です。

▲乗り換えに時間がかかる → 朝の駅はホームや改札も人で渋滞しています。

③ 家を出てから帰宅までが受験である。

受験会場での筆記試験や面接だけが受験ではありません。駅や、バス停付近に高校の先生方が立っています。

×何かを食べながら歩いている    ×服装が乱れている    ×交通マナーを守れていない

④ 最後まで緊張感を持ち続ける。

②で述べたことを守っているとかなり早く着いてしまう場合があります。さてあなたは何をしていますか？気を紛らわすために友達とおしゃべりをして、気がつかず声が大きくなってしまふ…なんてことにならないように。

**過去の先輩の報告書で多かったこと**

・時計がない！！！！当日教室の時計は全て外されています。（ある教室だけ時計が壊れていると有利不利になるため） → 自分で腕時計を持って行く。



・寒い？暑い？面接の待ち時間や早く着きすぎて待っている間とても寒くて辛かった。という意見がある一方、防寒対策をしていたら教室の暖房が効きすぎて汗だくになった。という意見も。 → ホッカイロや中のセーターなどは脱げるようにして臨機応変に。